

## 研究拠点形成事業（A. 先端拠点形成型） 最終年度 実施報告書（平成 2 5 年度採択課題）記入上の注意

（※本報告書は、前年度までの実施報告書とともに事後評価資料として使用します。）

【提出締切】平成 3 0 年 4 月 2 5 日（水）メールにて

— 提出にあたっての注意事項 —

提出締切日までにメールにて本会担当者宛にご提出ください。その後、本会担当者より拠点機関の担当者の方宛に記入内容についての照会等を随時行いますので、照会后 1 週間以内に回答・修正版等の提出をお願いいたします。

また、実施報告書の内容が確定となりましたら担当者の方にご連絡しますので、様式 6 「実施報告書の提出について」に公印を押印の上、ご提出ください。

記載内容は振興会ホームページで公開します。記載に当たっては一般国民に理解できるようわかりやすい言葉を用いるよう留意してください。特に専門用語を用いる場合には、必ず解説を付してください。

### 1. 拠点機関

日本及び相手国の拠点機関名を記載してください。

交流相手国が多数の場合は、行を増やして記入してください。

日本側拠点機関：	〇〇〇〇大学
〇〇側拠点機関：	〇〇〇〇大学
〇〇側拠点機関：	〇〇〇〇大学

### 2. 研究交流課題名

「平成 2 9 年度実施計画書」に記載のものと同一の課題名を記載してください。

(和文)： \_\_\_\_\_

(交流分野： \_\_\_\_\_)

(英文)： \_\_\_\_\_

(交流分野： \_\_\_\_\_)

研究交流課題に係るホームページ：<http://> \_\_\_\_\_

ホームページアドレスを必ず記入してください。

### 3. 採用期間

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日～平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

( \_\_\_\_\_ 年度目)

#### 4. 実施体制

「平成29年度実施計画書」に記載したとおり記入してください。  
(異動等による担当者・職名変更があった場合※は、変更後の内容を記入してください)  
※この場合、取扱い手引「Ⅱ-8 契約締結後の交流計画・支出計画の変更等」を参照し、  
必要な手続きを行っているかどうか必ず確認してください。

#### 日本側実施組織

拠点機関： ○○大学  
実施組織代表者（所属部局・職・氏名）： ○○・○○○○  
研究代表者（所属部局・職・氏名）： ○○研究科・○○・○○○○  
協力機関： ○○大学  
事務組織： ○○○○○

#### 相手国側実施組織（拠点機関名・協力機関名は、和英併記願います。）

##### (1) ○○側実施組織

拠点機関：(英文) △△University  
(和文) ○○大学  
研究代表者（所属部局・職・氏名）：  
(英文) Department of □□□, Professor, Xxxxx X X X X X  
協力機関：(英文) △△ University  
(和文) ○○大学  
経費負担区分： パターン1

##### (2) △△側実施組織

拠点機関：(英文) △△University  
(和文) ○○大学  
研究代表者（所属部局・職・氏名）：  
(英文) □□□Institute, Senior Researcher, Xxxx  
X X X X X  
協力機関：(英文) △△ University  
(和文) ○○大学  
経費負担区分： パターン2

## 5. 研究交流目標

### 5-1. 平成29年度研究交流目標

「平成29年度実施計画書」の「7. 平成29年度研究交流目標」で記入した内容を記載してください。

### 5-2. 全期間を通じた研究交流目標

「平成29年度実施計画書」の「5. 全期間を通じた研究交流目標」で記入した内容を記載してください。

また、目標に対する達成度について、チェックボックスから該当するものを選択し、選択した理由を【理由】の欄に記載してください。

## 6. 研究交流成果

### 6-1. 平成29年度研究交流成果

(研究協力体制の構築状況、学術面の成果、若手研究者育成、社会貢献や独自の目的等についての平成29年度の成果を簡潔に記載してください。なお、交流を通じての相手国からの貢献及び相手国への貢献を含めてください。)

### 6-2. 全期間にわたる研究交流成果

(1)～(8)について、ポイントを絞って記載してください。

(8)について、「本事業名が明記されているもの」に限ります。また、詳細は別紙「論文リスト」に記入してください。

**7. 平成29年度及び全期間にわたる研究交流実績状況**

・「平成29年度実施計画書」の「8. 平成29年度研究交流計画状況」で計画した「8-1 共同研究」～「8-3 研究者交流」に対応するように記載してください。（ただし、文末の時制変更のみは不可とします）

**7-1 共同研究**

整理番号	R-○	研究開始年度	平成○○年度	研究終了年度	平成○○年度
研究課題名	(和文)	最終年度以前に終了している共同研究がある場合も記載してください。			
	(英文)				
日本側代表者 氏名・所属・職	(和文)				
	(英文)				
相手国側代表者 氏名・所属・職	(英文)				
29年度の研究 交流活動及び得 られた成果					
全期間にわたる 研究交流活動及 び得られた成果 の概要					

**7-2 セミナー**

(1) 全期間において実施したセミナー件数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
国内開催	回	回	回	回	回
海外開催	回	回	回	回	回
合計	回	回	回	回	回

(2) 平成29年度セミナー実施状況

例(相手国が中国と韓国の場合)

整理番号	S-〇
セミナー名	(和文) 日本学術振興会アジア教育研究拠点事業「 」
	(英文) JSPS Core-to-Core Program “ ”
開催期間	平成〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 平成〇〇年〇〇月〇〇日 (〇日間)
開催地(国名、都市名、会場名)	(和文)
	(英文)
日本側開催責任者 氏名・所属・職	(和文)
	(英文)
相手国側開催責任者 氏名・所属・職 (※日本以外で開催の場合)	(英文)

参加者数

※例（セミナー開催地が中国で、3日のセミナーに相手国からそれぞれ15人ずつ参加、日本側参加者リストに含まれるイタリアの研究者が1名参加、開催地の中国からは「参加研究者リスト」にない研究者が15名参加した場合）

派遣先 派遣元	セミナー開催 国 (中国)	
	A.	B.
日本 <人/人日>	A.	15/ 45
	B.	
中国 <人/人日>	A.	15/ 45
	B.	15
韓国 <人/人日>	A.	15/ 45
	B.	
イタリア (日本側参加者) <人/人日>	A.	1/ 3
	B.	
合計 <人/人日>	A.	46/ 138
	B.	15

「参加研究者リスト」にない、一般参加予定者は、Bに記入してください。  
※本事業費からの負担の有無に関わらず、参加者リストに記載されている方は「A.」、記載されていない方は「B.」としてカウントしてください。

A. 本事業参加者（参加研究者リストの研究者等）

B. 一般参加者（参加研究者リスト以外の研究者等）

※日数は、出張期間（渡航日、帰国日を含めた期間）としてください。これによりがたい場合は、備考欄を設け、注意書きを付してください。

セミナー開催の目的	「平成29年度実施計画書」に記載した「セミナー開催の目的」と同一の記載としてください。									
セミナーの成果	活動実績だけではなく、実施計画書に記載した「期待される成果」についての達成状況やその他の成果などを記載してください。									
セミナーの運営組織										
開催経費分担内容と金額	日本側	(*記載例)								
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">内容</td> <td style="width: 40%;">外国旅費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">金額 1,500,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外国旅費・謝金等に係る消費税</td> <td style="text-align: right;">120,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 1,620,000 円</td> </tr> </table>	内容	外国旅費	金額 1,500,000 円		外国旅費・謝金等に係る消費税	120,000 円		
内容	外国旅費	金額 1,500,000 円								
	外国旅費・謝金等に係る消費税	120,000 円								
		合計 1,620,000 円								

	中国側	(*記載例) 内容 会議費 国内旅費
	韓国側	(*記載例) 内容 外国旅費

「開催経費分担内容」(日本側・相手国側)と「金額」(日本側のみ)は必ず記入してください。

**7-3 研究者交流（共同研究、セミナー以外の交流）**

**（1）平成29年度実施状況**

本事業で実施した研究者交流（国内交流を含む）について、記載してください。

（研究者交流を実施しなかった場合は、「平成29年度は実施していない」と記載し、表を削除して提出してください。）

日数	派遣研究者		訪問先・内容			派遣先
	氏名	所属・職名	氏名	所属・職名	内容	
日間						
日間						
日間						

- ・国内外交流実績について詳細を記載してください。
- ・本事業経費を使用した交流のみ記載してください。
- ・必要に応じて行を追加してください。
- ・四半期交流状況報告書の「交流リスト」の一部と書式を揃えましたので、「交流リスト」の交流区分「研究者交流」に該当する交流を転記してください。ただし、「日数」については、「交流リスト」では計算式が入っており、そのままコピーができないためご注意ください。

**（2）全期間にわたる実施状況概要**

全期間にわたる研究者交流の概要について、ポイントを絞って記載してください。

**7-4 中間評価の指摘事項等を踏まえた対応**

中間評価の指摘事項等を踏まえ、交流計画等に反映させた場合、その対応について記載してください。



**8. 研究交流実績総人数・人日数**

- ・本年度に交流相手国と交流を行った研究者の延べ人数及び人日数を国別に記載してください。
- ・人数と人日数は、「2/14」（＝2人を7日間ずつ、計14日間派遣（受入）した場合）のように記載してください。
- ・日本側参加研究者の日本国内出張は、「8-2 国内での交流実績」欄へ記載してください。

**8-1 平成29年度の相手国との交流実績**

例

派遣先 派遣元	四半期	日本		中国		韓国		合計			
		人数	人日数	人数	人日数	人数	人日数	人数	人日数		
日本	1		( )			3/9	( )			3/9	( 0/0 )
	2			2/6	( )					2/6	( 0/0 )
	3			11/33	( 15/45 )					11/33	( 15/45 )
	4			1/10	( )	2/4	( )			3/14	( 0/0 )
	計			14/49	( 15/45 )	5/13	( 0/0 )	0/0	( 0/0 )	19/62	( 15/45 )
中国	1		( )							0/0	( 0/0 )
	2	1/3	( )							1/3	( 0/0 )
	3									0/0	( 0/0 )
	4	1/5	( )							1/5	( 0/0 )
	計	2/8	( 0/0 )			0/0	( 0/0 )	0/0	( 0/0 )	2/8	( 0/0 )
韓国	1		( )		( 2/4 )					0/0	( 2/4 )
	2				( )					0/0	( 0/0 )
	3				( 1/3 )					0/0	( 1/3 )
	4				( 1/3 )					0/0	( 1/3 )
	計	0/0	( 0/0 )	0/0	( 4/10 )			0/0	( 0/0 )	0/0	( 4/10 )
合計	1	0/0	( 0/0 )	0/0	( 2/4 )	3/9	( 0/0 )	0/0	( 0/0 )	3/9	( 2/4 )
	2	1/3	( 0/0 )	2/6	( 0/0 )	0/0	( 0/0 )	0/0	( 0/0 )	3/9	( 0/0 )
	3	0/0	( 0/0 )	11/33	( 16/48 )	0/0	( 0/0 )	0/0	( 0/0 )	11/33	( 16/48 )
	4	1/5	( 0/0 )	1/10	( 1/3 )	2/4	( 0/0 )	0/0	( 0/0 )	4/19	( 1/3 )
	計	2/8	( 0/0 )	14/49	( 19/55 )	5/13	( 0/0 )	0/0	( 0/0 )	21/70	( 19/55 )

- ・様式4「第4—四半期交流状況報告書」の「1. 国別交流人数・人日数総表」を転記してください。
- ・相手国側マッチングファンドなど、本事業経費によらない交流については、( / )で記入してください。
- ・相手国同士の交流実績（中国⇄韓国等）については、把握している場合、参考情報として記入してください。

**8-2 平成 29 年度の国内での交流実績**

1	2	3	4	合計
3/6 (    )	(    )	(    )	2/4 (    )	5/10 ( 0/0 )

- ・様式 4 「**第 4**—四半期交流状況報告書」の「**2. 国内交流人数・人日数総表**」を転記してください。
- ・本事業経費によらない交流については、( / ) で記入してください。

共同研究・セミナー・研究者交流にて第三国派遣・受入を実施した場合は、事前に当会からの承認が得られているか必ず確認してください。

**8-3 全期間にわたる派遣・受入人数**

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
派遣人数 (人)					
受入人数 (人)					

※各年度の実施報告書の「相手国との交流実績」に記載の人数を転記してください。相手国側マッチングファンド等日本側予算によらない交流については ( ) で記載してください。

9. 経費使用総額

単位に注意してください。

9-1 平成29年度経費使用総額

(単位 円)

	経費内訳	金額	備考
研究交流経費	国内旅費		
	「委託費支出報告書」のそれぞれの「支出額」を記入してください		
	謝金		
	備品・消耗品 購入費		
	その他の経費		
	不課税取引・ 非課税取引に 係る消費税		
	計	0	
業務委託手数料			
合 計		0	

単位に注意してください。

9-2 全期間にわたる経費使用額

(単位 千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
国内旅費					
外国旅費					
謝金					
備品・消耗品 購入費					
その他の経費					
不課税取引・ 非課税取引に 係る消費税					
合計	0	0	0	0	0

※各年度の実施報告書の「経費使用額」に記載の内容を千円単位にして転記してください。

**10. 相手国マッチングファンド使用額**

**10-1 平成29年度使用額**

相手国名	経費負担区分	平成29年度使用額	
		現地通貨額[現地通貨単位]	日本円換算額
		[      ]	円相当
		[      ]	円相当

※交流実施期間中に、相手国が本事業のために使用したマッチングファンドの金額について、現地通貨での金額、及び日本円換算額を記入してください。

※経費負担区分

パターン1：日本側研究者の経費は振興会が、相手国側研究者の経費は相手国側学術振興機関等が負担。

パターン2：派遣国が派遣にかかる費用を負担し、受入国が受入にかかる滞在費等を負担。

**10-2 全期間にわたる相手国のマッチングファンドの状況概要**

全期間にわたる相手国のマッチングファンド獲得状況、使用状況を簡潔に記載してください。

**11. 参加研究者リスト**

研究者番号は、採用期間全体を通して研究者一人につき一つの番号を使用します。  
 継続的に、本事業に参加した研究者（参加者要件については、取扱い手引Ⅱ. 5 参加研究者の範囲等参照）は全て記入してください。  
 漢字表記、スペル、LAST NAME/First name の大文字・小文字の別・順序、スペース等、記入方法を統一してください。

**参加研究者リストの記入例**

研究者番号の初めの数字は国別の番号となります。

「拠・協」欄には、「拠点機関」「協力機関」「協力研究者」のいずれかを選択してください。  
 拠点機関が部局の場合、同じ大学に所属する者であっても部局が異なれば、「協力機関」または「協力研究者」となります。

研究者番号	氏名	カナ	所属	職名	専門	拠・協	国名	備考
1-1							①インド	②OHOOB-O
1-2								③HOO.O.削除
1-3								④HOO.O.追加

								⑤履修済
--	--	--	--	--	--	--	--	------

(例)

- ① 第三国の研究者の場合は、所属する研究機関の所在国名を記入してください。
- ② 今年度までに申請書を提出し、本事業への参加が承認された研究者等の承認番号を記入してください。
- ③ 参加研究者を削除した場合、行の削除はしないでください。「備考」欄に削除年月を記載し、その研究者番号は欠番としてください。
- ④ 参加者を追加した場合、「備考」欄に追加した年月を記載してください。
- ⑤ 日本側参加者リストに年度途中で追加があった場合は、研究倫理教育の履修を完了していることを確認し、その旨を「備考」欄に記載してください。

**[11-2/11-3 相手国側参加研究者リストについて]**

このリストは、日本側参加研究者リスト以外の研究者が参加（所属）している拠点国ごとに作成してください。（研究者の国籍ではありませんので注意してください。）

「国名」「氏名」「所属」「職名」「専門」については、すべて英文表記（韓国・中国含む）としてください。

なお、「研究者番号」の初めの数字は国ごとに異なります。

参加研究者の範囲（手引Ⅱ. 5）に該当しない研究者は備考欄に承認番号が記載されていることを必ず確認してください。

**別紙「論文リスト」**

・この交流の成果であり、コーディネーターあるいは参加研究者により、全期間を通じて発表された本事業名が明記されているもののみを記載してください。なお、過年度の論文リストで報告しているものを、順番を並び替えずに転記してください。(過年度の論文リストで記載漏れがあり、本最終年度用リストに追記する場合は、各年度の最後に追加してください。)

- ・コーディネーター・参加研究者の氏名にはアンダーラインを付してください。
- ・相手国の参加研究者との共著論文、共同発表には、「相手国との共著（共同発表）」欄に○印を付し、相手国名を記入してください。
- ・査読がある場合、「査読」欄の有無を選択してください。
- ・相手国の研究者のみによる成果を記入する場合（この場合も、本事業名が明記されているものに限り）は、相手国欄に「○○（国名）のみ」と記入してください。
- ・必要に応じて行を追加してください。

(記載例)

(1)学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文又は著書					
・査読がある場合、印刷済み及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く。また「査読」欄は有無を選択してください。					
整理番号	年度	著者名、発表論文名、学会誌名、発表年月巻号等	査読	相手国との共著	相手国名
1	H25	学振 太郎 学振 次郎 S. Gakushin, OO OO, "□□□□□□□□□□□□", ΔΔΔΔ. 103, 2302-2310, (2013.10)	有	○	中国
2	H25	学振 花子 学振 一郎 C. Gakushin, OO OO, "□□□□□□□□□□□□", ΔΔΔΔ. 201, 1406-1421 (2013.6)	有		
3	H25	学振 太郎 学振 次郎 S. Gakushin, A. Gakushin. OO OO, "□□□□□□□□□□□□", ΔΔΔΔ. 51, 1261-1281 (2013.7)	有	○	中国、韓国

(2)国際会議における発表					
・著者名(参加研究者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること)、発表題名、発表した学会名、開催場所、論文等の番号、発表年月日等を記載すること。発表者に○印を付すこと。					
・査読がある場合、有無を選択してください。					
・アブストラクト等に謝辞を記載するスペースがない等の理由で、本事業への謝辞の記載がない場合でも、発表資料に本事業名や本事業ロゴマーク等の記載があり、本事業の支援を受けた成果であることが明白になっている場合は、記載してください。					
整理番号	年度	著者名、発表題名、学会名、開催場所、口頭・ポスター等の形式、論文等の番号、発表年月日等	査読	相手国との共同発表	相手国名
1	H25	学振 太郎 学振 次郎 S. Gakushin "□□□□□□□□□□□□", Δth International Conference on ΔΔΔΔ, September 1-3, 2015, New York, USA. (口頭発表), (2013.9.2)		○	中国
2	H26	学振 花子 学振 一郎 C. Gakushin "□□□□□□□□□□□□", Δth International Conference on XXXXX, August 10-15, 2015 Shanghai, China. (口頭発表), (2014.8.13)	有		
3	H26	学振 太郎 A. Gakushin "□□□□□□□□□□□□", Δth International Conference on XXXXX, August 10-15, 2015 Shanghai, China. (ポスター発表), (2015.3.14)	有	○	韓国

## 平成25年度採択課題

(3)国内学会・シンポジウム等における発表					
・(2)と同様に記載すること					
整理番号	年度	著者名、発表題名、学会名、開催場所、口頭・ポスター等の形式、論文等の番号、発表年月日等	査読	相手国との共同発表	相手国名
1	H25	学振 太郎, 学振 次郎, S. Gakushin “□□□□□□□□□□”, △△△△研究会, ○○大学 (口頭発表), (2013.5.1)		○	中国
2	H25	学振 花子, 学振 一郎, C. Gakushin “□□□□□□□□□□”, 第○回XXXXX学会, 東京 (口頭発表), (2013.12.3)	有		
3	H26	学振 太郎, A. Gakushin “□□□□□□□□□□”, 第○回XXXXX学会, 東京 (ポスター発表), (2014.12.4)	有	○	韓国